

「JENESYS2.0」

中国公務員・経済界青年代表団

訪問日程 平成 27 年 8 月 4 日（火）～8 月 8 日（土）

1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国公務員・経済界青年代表団計 64 名が、8 月 4 日から 8 月 8 日までの 4 泊 5 日の日程で来日しました。（団長：王秀雲（オウ・シュウウン）中国日本友好協会副会長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、代表団は東京・京都の行政・経済に関する官庁・企業などへの訪問及び関係者との交流を通じて、専門分野への理解と日本の青年や市民との親睦を深めました。また、日本の防災・環境施設の視察、歴史的建造物の見学、日本文化体験などを通じて、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

8 月 4 日（火）

- ・公務員グループ
羽田空港より入国、東京臨海広域防災公園視察
- ・経済グループ
成田空港より入国、皇居二重橋見学
- ・共通
オリエンテーション

8 月 5 日（水）

- ・公務員グループ
有明清掃工場視察、お台場見学、東京都庁表敬訪問・講義
- ・経済グループ
株式会社三菱総合研究所訪問・視察、森ビル株式会社訪問・視察
- ・共通
歓迎会

8 月 6 日（木）

- 京都へ移動
- ・公務員グループ
京都市上京区役所訪問・視察、下鴨神社見学
- ・経済グループ
二条城見学、株式会社島津製作所 本社・三条工場訪問・視察
- ・共通
和風旅館での日本文化体験

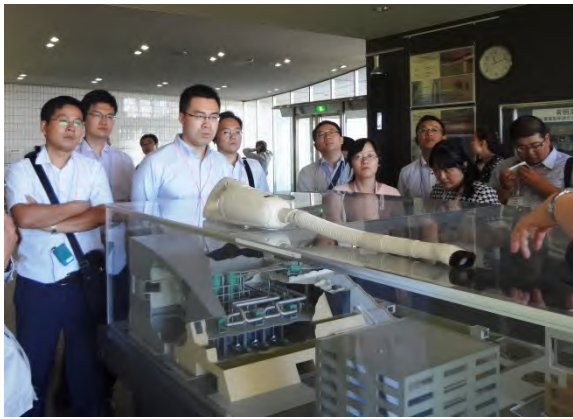
8 月 7 日（金）

- 清水寺見学、東京へ移動
- ・公務員グループ
商業施設視察
- ・経済グループ
有明清掃工場視察、お台場見学
- ・共通
歓送報告会

8 月 8 日（土）

- ・公務員グループ
皇居二重橋見学、羽田空港より帰国
- ・経済グループ
商業施設視察、成田空港より帰国

3 写真

	
8月4日 東京臨海広域防災公園視察 (東京都)	8月4日 皇居二重橋見学 (東京都)
8月4日 考察东京临海广域防灾公园 (东京都)	8月4日 参观皇居二重桥 (东京都)
	
8月5日 有明清掃工場視察 (東京都)	8月5日 東京都庁表敬訪問 前田信弘副知事(右)と王秀雲団長(東京都)
8月5日 考察有明清扫工厂 (东京都)	8月5日 拜访东京都政府 前田信弘副知事(右)和王秀云团长(东京都)
	
8月5日 株式会社三菱総合研究所 訪問・視察 (東京都)	8月5日 森ビル株式会社 訪問・視察 (東京都)
8月5日 访问考察株式会社三菱综合研究所 (东京都)	8月5日 访问考察森大厦株式会社 (东京都)

	
8月5日 歓迎会 川田勉 外務省アジア大洋州局 中国・モンゴル第一課地域調整官の挨拶 (東京都)	8月6日 京都市上京区役所 訪問・視察 (京都府)
8月5日 歓迎会 外務省アジア大洋州局中国・蒙古第一課地域調整官川田勉致辞 (東京都)	8月6日 訪問考察京都市上京区政府 (京都府)
	
8月6日 下鴨神社見学 (京都府)	8月6日 二条城見学 (京都府)
8月6日 参観下鴨神社 (京都府)	8月6日 参観二条城 (京都府)
	
8月6日 株式会社島津製作所 本社・三条工場 訪問・視察 (京都府)	8月7日 清水寺見学 (京都府)
8月6日 訪問考察株式会社島津製作所 总公司及三条工場 (京都府)	8月7日 参観清水寺 (京都府)

	
8月7日 お台場見学 (東京都)	8月7日 歓送報告会 訪日の成果を発表 (東京都)
8月7日 参观台场 (東京都)	8月7日 欢送报告会 团员汇报访日成果 (東京都)

4 参加者の感想（抜粋）

○最も印象に残ったのは、環境保全に対する人々の意識が非常に高いことである。都市はたいへん清潔で、資源の利用効率が高いと感じた。東京都は、経済成長と環境負荷低減の両立を図っている。都市の機能を向上させ、持続可能な発展を実現するための有益な経験と効果的な手法は、同じく大型国際都市への道を歩んでいる北京市にとって、大いに参考になるものである。

○今回の訪問では、日本側が多彩かつ充実した日程を組んでくださり、各々の見学や視察を通して、多くの収穫を得ることができた。その中で印象に残った事柄を以下に挙げる。

1. 日本に到着した日の夜、日本側スタッフは、代表団をホテルに送り届けた後、自分たちは休まずに、そのままホテルのロビーで翌日の手配について打ち合わせをしていた。このような仕事に対する責任感の強さや真面目さに、感動と尊敬の念を覚えた。
2. 視察や見学の相互のつながりはスムーズで、予定した通りの時間で進行した。このことから、日本側が事前に周到な準備を行っていたことがうかがえた。
3. 京都市上京区役所の見学では、役所を訪れた区民に対して職員が親切で親しみやすい態度で接しており、区民もまた職員のサービスを高く評価しているのが感じられた。行政側と市民の関係が良好なことは、日本の各レベルの行政サービスが適切に行われていることの表れであり、このことは我々が学ぶに値する点である。
4. 駅では、大勢の人の流れがありながらも落ち着いて整然としており、騒がしさはなく、静かであった。これは日本社会の縮図であり、国民資質の高さの表れである。
5. 世界反ファシズム戦争勝利 70 周年に際して、日本のテレビが放映していたのは、日本が原爆を投下されたことに関するものだった。その視点は、考え深いものがある。

○今回最も印象深かったのは、第一に、日本側スタッフが日程の手配や随行の面で尽力してくれたことである。5日間という滞在期間は非常に短いため、限られた時間内なるべく多彩なプログラムを提供すべく、スタッフの皆さんは周到な準備をしてくれた。おかげで実際の見学の流れはたいへんスムーズであった。第二に、日本の環境保全の取り組みは確かに優れたものであるということである。進んだ技術と制度により、限りある資源を有効に利用すると共に、リサイクルを徹底して実施し、良好な成果を上げている。第三に、日本の都市においては、伝統的なものと現代的なものがうまく融合している。両者が共存することで、伝統文化と現代的な快適性・利便性の両立が図られており、都市全体の調和がよくとれている。第四に、日本の

行政機関はサービス提供者としての意識が非常に高く、理念は先進的で、施設も整えられている。日本では、政府の提供するさまざまな便利さを一般市民が十分に享受できている。

今回の訪問は、直に日本を感じ、知る機会を私に与えてくれた。帰国後は、日本で感じ取ったスタッフの皆さんの謹厳な仕事ぶりや心の温かさをはじめ、環境保全分野での進んだ経験や成果、文化継承の取り組み等を身近な人たちに伝えたい。中日両国間の誤解が解け、交流と協力により共に発展し、ウィンウィンの関係を築くことができるよう望んでいる。

○今回の訪問プログラムは非常に充実したものであり、交流や視察を通じて日本の現代的な面を知ることができたばかりでなく、見学等のさまざまな形で日本の伝統文化に触れることもできた。最も印象深かったのは、以下の点である。日本は進んだ技術を活用することで、国民の生活レベルと生活環境の改善に努めてきた。国民全体が同じ一つの目標の下で自らを律し、生活習慣や仕事上の行為の規範化を行ってきた。これは非常に困難なことであり、政府と多くの国民の間に共通の思想観念がなければ不可能である。少なくともある領域や分野において、同一の目標や行動規範を形成しなければならないが、これを成し遂げることは非常に難しい。帰国後は、身の周りの小さな事から着手していくことや、まず自らの行動を正すことで周囲に影響を及ぼしていくことの必要性を周りの人に伝えたい。中国もまた、先進的社会主義の創造という最終目標を達成できると信じている。

○今回の訪問では、非常に大きな収穫を得ることができた。三菱総合研究所では、3名の専門家によるプレゼンテーションを拝聴し、日本の民間シンクタンクの魅力を直に感じ取ることができた。森ビルの見学では、世界で最も先進的な都市複合施設の開発と運営を体感し、島津製作所の視察では、精密計器製造分野における日本の卓越した技術に驚かされた。また、お台場の有明清掃工場では、日本の環境保全の理念について理解を深め、浅草寺、二条城、清水寺、雄琴温泉では、日本の風土や習慣を感じ取った。

今回、最も印象深かったのは、三菱総合研究所である。日本のエリートたちの国を思う心に深く感じ入った。彼らの一つ一つの研究や調査は、いずれも日本経済と国民の生活に的を絞ったものである。日本の民間シンクタンクの成功について、我々は改めて深く掘り下げて考えてみるべきである。

帰国後は、報告書を作成し、グループ企業に対して首都農業研究所の設立を提案する予定である。中日の交流と中国の農畜産業の発展を促すために、力を尽くしていきたい。

○島津製作所三条工場の見学を通じて、日本企業の科学研究に対する真摯な姿勢と、そのイノベーション精神に感服させられた。日本は、明治維新以降、文化教育と科学技術の研究開発を特に重視し、現在まで200年余の間それを堅持してきた。今日のグローバル化という大きな背景の下、世界の経済市場は細分化を続け、先進的なレベルの科学技術を掌握した者だけが産業チェーン全体の中でリーダーとなり、優位を占めることができる。そして、日本の多くの企業が、それぞれの業界においてこれを成し遂げており、強靱な競争力を保ち続け、その勢いは衰えを知らず、発展の基礎は強固さを保っている。この点は、中国の企業にとって、大いに参考になるものである。帰国後は、日本企業がイノベーションを重視し、それを発展の手段としていることを周囲の人たちに伝えたい。